

■背景と目的

大阪府で農業の多様な担い手の確保と障がい者の雇用・就労の拡大に取り組む中、当研究所では、障がい者、高齢者の就労や就労訓練、生きがいつくりのために行う農業や園芸作業を「ハートフル農業」と位置づけ、農業分野での就労を促進するために、研究開発や技術支援、情報提供を行っています。

当校では、今後の「ハートフル農業」の実践には、障がいのある子ども達に、作物の生長や収穫の楽しさなど農業が持つ学びと癒しに接する機会を増やすことが重要と考えています。

そこで、「ハートフル農業」の実践・普及を目指して、大阪府教育庁と検討を重ねた結果、支援学校等の教員を対象に、農業の基礎的な知識や栽培技術、作業工程管理などを内容とする「ハートフル農業講座」を実施しています。



■講座の内容

年度	日程	講義	実習
2019年度	8月 全4回	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の基礎 ・肥料 ・農薬 ・児童生徒がわかりやすい作業過程 	<ul style="list-style-type: none"> ・果菜類の収穫 ・セルトレイの利用方法 ・葉菜類の定植（畝立てとマルチ） ・農薬散布の実際
2020年度	6～12月 全6回	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の基礎 ・肥料 ・農薬 ・児童生徒がわかりやすい作業過程 ・野菜の作り方（作物別） 	<ul style="list-style-type: none"> ・果菜類の定植、仮支柱立て、誘引、整枝、摘葉等 ・葉菜類のは種、定植、収穫 ・イモ類の定植、収穫 ・マメ類の育苗

・参加校数

2019年度：15校 延べ88名（全4回）

2020年度：11校 延べ56名（10月30日時点（4回））

■今後の方向性

講座に参加した教員からは、「今まで自己流で栽培してきたが、異なる視点での栽培方法を学ぶことができた。」「農業の基本や応用についてわかりやすい言葉で説明がありよく理解できた。」など概ね高評価を得ました。

今後も各関係機関と連携の元、教育現場での農業教育ニーズを的確に把握し、より実践に即した講座を実施していきます。

さらに、障がい者雇用の現場を視察する「ハートフル農業講座（実践農場編）」など、雇用を見据えた講座も含めて、ハートフル農業講座の充実に努めていきます。

